

身体障害者関係施設

サービス評価基準

岐阜県心身障害者（児）入所施設サービス評価委員会
（「利用者の豊かな生活をめざす委員会」・岐阜県福祉事業団身体障害者関係施設部会）
平成19年3月2日（改訂案）

目 次

I 利用者の権利擁護	3 P
II 日常生活の援助	
1 食事.....	9 P
2 入浴.....	11 P
3 排泄.....	13 P
4 衣類.....	14 P
5 健康管理.....	15 P
6 自立の援助.....	15 P
7 外出や外泊への援助.....	16 P
8 レクリエーション.....	17 P
9 利用者の自由選択.....	18 P
10 預り金等の管理.....	20 P
III 専門的サービス	21 P
IV 地域福祉・連携	24 P
V 施設設備	26 P
VI 経営・職員管理等(資質の向上) ...	28 P
VII 安全対策	32 P
身体障害者授産施設及び通所授産施設におけるサービス評価基準	
VIII 授産サービス	34 P

身体障害者関係施設サービス評価基準

I 利用者の権利擁護

(着眼点)

施設福祉サービスの対象者である利用者の主体性を明確にするとともに、自ら求めるサービスを選択、決定できるような支援体制を評価するため、利用者の権利擁護に対する適切な配慮、施設長の経営姿勢、利用者に対する職員の態度、プライバシーに対する意識等を調査する。

1 施設長の姿勢に利用者主体の考え方が貫かれていますか。

〈趣旨〉 利用者の権利擁護には、まず、施設長自身が利用者主体の姿勢を職員に示す必要があります。さらに、施設長自身が利用者一人ひとりの状況を把握するとともに、施設の経営も、利用者や職員の意見を取り入れて、民主的に行う必要があります。

〈方法〉 自己評価を参考にして、施設長と面談をして**施設主体に処遇が決定されるのではなく、利用者主体を尊重されているか**評価する。

- A ①施設のサービスに利用者の希望を反映するため、アンケートや懇談会を実施して、利用者の意見を聞く努力をしている。
②施設長は利用者一人ひとりの特性を把握し、職員が対応方法で困っているときは適切な助言指導を行っている。

〈方法〉 記録を添付してください

- B Cを満たしたうえ、施設で倫理綱領や職員行動規範を定めたり、苦情解決の機関を設けるほか、組織で勉強会や研修を行うなど利用者本位のサービスの徹底に努力している。

〈方法〉 記録を添付してください。

- ①職員の意見をよく聞く姿勢をもっている。
②日頃から職員に身体拘束や虐待防止について周知している。

- C 次の事項をいずれも実施している。
①施設長が日常的に利用者の現場を視ている。
②支援記録に目を通してしている。

- D Cを実施していない。

2 利用者に対する職員の姿勢は適切でしょうか。

<趣旨> 「世話をしてやっている。」という意識が職員の中にないでしょうか。そのような意識が権利侵害につながりかねません。言葉遣いや態度に現れていないでしょうか。

- A 何でも安心して頼むことができ、いつでも話を聞く職員集団が作られている。
<方法> 理由、根拠となる参考資料…受容や共感的態度…があれば添付してください。
- B Cを満たしているうえに、次の事項を実施している。
利用者の意識を大切にする姿勢が職員に行き渡っており、常に誠意を持って言葉かけや行動をしている。
- C 次の事項を実施している。
①利用者に対しては、年齢にふさわしい敬称をつけて呼ぶようにしている。
②「何々しないと何々してあげないよ」のような交換条件による対応はしないようにしている。
③「何々しなさい!」「ダメよ!」「どうして何々するの!」のような命令語、禁止語、叱責語は用いないようにしている。
- D 次のいずれかに該当する場合
①世話をしてやっているというような恩着せがましい態度や、高圧的で威嚇するような態度を示す職員が居る。
②職員が利用者呼び捨てにしたり、ニックネームで呼んだりしている。
③利用者に対して乱暴な言葉を使ったり、軽蔑したり、からかったりする職員が居る。
④介助を嫌がるような言葉を、利用者や家族の前で口にする職員が居る。

3 利用者への情報提供や、利用者の意思や希望を引き出す取り組みを行っていますか。

<趣旨> 施設利用の際に、まず利用者の利用目的に沿った支援方針を作成することが、必要です。また、十分な説明をして、利用者が自分の意思でサービスを選べるようにしています。意思表示が困難な利用者についても、希望を汲み取る努力をする必要があります。

- A Bを満たしているうえで、利用者が主体的に意思表示する力を育むための具体的な取り組みを行っており、職員間で共有している。
<方法> 具体的な取り組みについて、備考欄に記載してください。
- B Cを満たしているうえに、次の事項のいずれも実施している。
①友好的な言葉かけをしたり、目線を合わせて話をするなど、利用者の希望を引

き出そうとする態度が職員に行き渡っている。

- ②言葉によるコミュニケーションが取りにくい利用者についても、表情や行動などの非言語的な表現を解釈するなどして、その意思や希望を汲み取る努力をしている。

□C 次の事項のいずれも実施している。

- ①本人の意思や希望を理解するために、家族や本人からの嗜好や希望、価値観などについて情報収集し、**支援**に反映させるようにしている。
②利用者の障害や状況、特性に応じて提供できるサービスの内容などに関して、分かり易く情報提供できる努力をしている。

□D 特別な取り組みをしていない。

4 利用者の要求に対応していますか。

＜趣旨＞ 利用者の希望は多様です。集団生活という制約はありますが、施設にいてもできるだけ同世代の人と同じような生活ができるような要求にも、施設全体で応えていく姿勢が必要です。

□A Bを満たしているうえに、利用者からの要求に対しては、概ね応えることができる。

＜方法＞ **どんな要求があつてどう処理したか、具体的な取り組みを記録に残す。記録で確認できれば概ね応えていると判断する。**

□B 次の事項の全てを実施している。

- ①利用者からの求めにすぐに応えられないときは、求められた内容を上司に相談することになっている。
②すぐに応えることが難しい事柄でも、会議を随時開催するなどして、施設全体で話し合っ、要求に応える努力をしている。
③話し合っ、なお希望に応えられない事柄については、その理由を利用者に説明して理解を求めている。

□C 利用者から既存のサービスメニューに無いサービスを求められたとしても、できる限り応えられるような姿勢を持っている。
一旦受け止めて拒絶しない。

□D 利用者からの要求に応じていない。

5 **体罰・虐待**や不適切な言葉遣いによる人権侵害はありませんか。**体罰・虐待**などを予防するため、どのような対策を行っていますか。

＜趣旨＞ **体罰・虐待**は絶対あつてはならないことです。また、不適切な言葉遣いも利用

者の心に傷を残します。**体罰・虐待等の禁止が明文化されているとともに、体罰・虐待等を許さないという共通認識が、施設に根付いていることが重要です。**

- A Bを満たしているうえに、「人権の尊重と**体罰・虐待の根絶アピール**」を採択するなど職員の意識高揚を一層図るなどの独自の取り組みや工夫がなされている。
(参考資料があれば、添付してください)

〈方法〉具体的な事例の提示を求め評価してください。

- B Cを満たしているうえに、**体罰・虐待**や不適切な言葉遣いなどは禁止され、その根絶に向けた**勉強会や研修**が定期的に行われ、**体罰・虐待**などを行った職員は厳格な処分を受けることになっている。
- C **不適切な言葉遣いなどは人権侵害であり、許されないということ**を、施設長が職員会議等で周知徹底している。
- D **体罰・虐待**や不適切な言葉遣いなどを容認する雰囲気**が施設内に存在し、過去一年以内にそれらを行った事例がある。**

6 利用者のプライバシーの保護に配慮していますか。

- A Bを満たしているうえに、プライバシー保護のために個室化を推進するなどの努力をしている。また、プライバシー保護のためのマニュアルを整備している。

〈方法〉具体的にあげてください。

- B Cを満たしているうえに、利用者が一人で過ごせるプライベートな時間・空間を確保する努力をしている。
- C 次の事項の全てを実施している。
- ①共同利用スペースで、他の利用者のプライバシーに関わる話をしないよう職員に徹底している。
 - ②見学者などが、写真撮影などで利用者の許可無く居室に立ち入らないよう配慮している。
 - ③利用者の個人情報**が外部に流出しないよう十分配慮している。**
- D 全く配慮していない。

7 利用者の生活の状況・変化について、**家族（家族に代わる人）**と連絡を密にしていますか。

- A Bを満たしているうえに、**家族を持たない利用者には、それに替わる支援を行っ**

ている。

〈方法〉独自の工夫内容を備考欄に記入してください。

- B Cを満たしているうえに、次の事項のいずれも実施している。
①利用者の将来について、定期的に家族等と話し合いを持っている。

〈方法〉特に地域移行についての取り組みが有れば記入してください。

- ②連絡がない家族に、積極的にアプローチしている。

- C 次の事項のいずれも実施している。
①家族に対して、利用者の了解を得るなどしたうえで、利用者の状況を定期的に知らせているほか、利用者の**疾病や事故等**については、直ちに知らせている。
②家族が来訪した折には、利用者の了解を得るなどしたうえで、利用者の生活状況を説明している。

- D 全く配慮していない。

8 利用者自治会や利用者本人の活動が認められ、自主的に運営されていますか。

〈趣旨〉 利用者の希望があれば、自治会等を積極的に認めていく必要があります。また、障害のために自治会活動が困難な場合でも、利用者本人の活動などを適切に支援していくことが、利用者主体の運営につながります。

- A 自治会組織があり、運営は利用者によって主体的に行われている。障害の程度等によっては、自治会の運営が難しい場合でも、自主的な利用者本人の活動を支援し、その意見を施設経営に反映している。

〈方法〉具体例をあげて評価してください。

- B 自治会は独自の組織として運営され、利用者の要請に基づいて職員が、側面的な支援を行っているか、又は障害のため自治会の運営が難しい場合でも、利用者の意見を聞く場を設けて、施設経営に反映させている。

- C 次の事項のいずれかを実施している。
①自治会があっても、職員が運営指導を行っている。
②現時点では自治会は無いが、設置の希望があれば施設として支援する用意がある。
③自主的な利用者本人の活動を妨げていない。

- D 自治会や利用者本人の活動は認めていない。

9 施設の支援等について、インフォームド・コンセント（事前説明・了解）の配慮をしていますか。

- A Bを満たしたうえで、インフォームド・コンセントの重要性を職員が十分認識し、日常的に各ケアの場面で利用者に対して様々な情報提供を行い、十分な説明をし、了解を得るよう配慮している。

〈方法〉具体的な取り組みを記入してください。

- B Cを満たしたうえに、行事・日課の変更等について、事前説明をして、了解をとっている。

- C ミーティング等で、常にインフォームドコンセントの重要性について動機付けをしている。

- D インフォームド・コンセントについての配慮をしていない。

10 職員の態度やサービスに対する不満、苦情解決等に対処していますか。

- A Bを満たしているうえに、不満、苦情等をサービス向上や支援内容の改善につなげている。

〈方法〉前年度にあった苦情の事例を全てあげてください。

- B Cを満たしているうえに、不満・苦情等の訴えには真摯に対応し、困難な事例であっても、関係機関との連携を行うなどして概ね解決し、内容を本人・家族の了解のもと、公表している。

- C 次のいずれかを実施している。

①職員の態度やサービスに対する不満を受け止めるための窓口を設け、活用を呼びかけている。

②利用者や家族との懇談の機会を定期的に持ち、訴えを聞くようにしている。

- D 不満や苦情について、特別な対応はしていない。

II 日常生活の援助

(着眼点)

県民の福祉サービスに対するニーズも多様化し、利用者の立場に立ったサービスが求められており、社会福祉施設のサービスについても質の高い、利用者本位のサービス提供が必要になっている。

特に食事や入浴、排泄など日常生活を送るうえでの基本的なサービスについて、利用者本位の福祉サービスの提供が行われているか評価する。

1 食事

(1) 食事時間は適切に設定（時間帯・所要時間等）していますか

（通所施設は「非該当」）

- A Bを満たしているうえに、利用者の事情に応じて食事時間以外の時間でも、個別の**介助を含む食事**を提供するなどの施設独自の工夫をしている。
（理由、根拠となる参考資料があれば添付してください）
- B 次の事項のいずれも実施している。
①朝食は起床から概ね1時間以内に食べられるようになっている。
②夕食は午後6時以降を目安として、利用者との話し合いにより決められている。
- C 次の事項のいずれも実施している。
①朝食は起床から2時間以内に食べられるようになっている。
②夕食は午後5時半頃で、夕食から朝食までの間隔は15時間以内である。
- D 次のいずれかに該当する。
①朝食は、起床から2時間以上待たないと食べられない。
②夕食は午後5時前である。
③夕食から朝食まで15時間以上の間隔があいている。

(2) 落ち着いて食べられるよう、利用者のペースに配慮していますか。

（身体障害者授産施設は除く）

- A Bを満たしているうえに、利用者に声を掛けたりして、ゆっくり食べられるような雰囲気を作っている。
- B Cを満たしているうえに、次の事項のいずれも実施している。
(C↑B)①利用者が自分のペースで食べることが出来るように、十分な時間を取っている。
②利用者の状態に応じて、食べ物の形態を工夫して食べやすくしている。
③食べやすいように食べる場所・食べる姿勢・食器・道具・机の高さ等を工夫している。
- C 次の事項のいずれも実施している。
①食事介助が必要な人に対しては、一回に口に運ぶ寮に気を配り、飲み込んだのを確認してから、次の介助をするようにしている。**(B↓C)**
②やむを得ず、一部の人が食べている間に後片付けを始めなければならない場合でも、急がせることにならないよう配慮している。
- D 食べ方の遅い利用者を急がせたり、叱ったりすることがある。

(3) 楽しくおいしく食べることができるよう、食堂の雰囲気作りに配慮していますか。

- A Bを満たしているうえに、個別的な配慮をするとともに、例えば観葉植物を置いたり、食堂のテーブルにクロスをかけるなど雰囲気作りに努力し、照明や採光にも配慮がされて、清潔で明るい雰囲気を作っている。

注 テーブルクロス、陶器による潜在危険への配慮も怠らないこと。

- B Cを満たしているうえに、次の事項のいずれも実施している。
①食器類は、状況に応じて陶器や漆器を使用するなど、できる限り家庭に近いものを使用している。
②食事の盛りつけにも工夫がなされ、種類も多い。

- C 明るく清潔な食堂になっている。

- D 食器類や机・いすの汚れなどの衛生面をはじめ、配膳者の身だしなみや清潔感への配慮がされていない。

(4) 食事のメニューは選択できるようになっていますか。

- A Bを満たしているうえで、毎日の食事にも選択できる工夫をする等、施設独自の工夫をしている。

- B ①毎月、食養膳や行事食、バイキング食などを実施している。
②利用者を入れた食事検討（改善）委員会を作っている。(C↑B)

- C 次の事項のいずれも実施している。
①週に1回は複数献立を取り入れている。
②定期的（最低年1回以上）に、アンケートなどで利用者の希望を聞いて献立に反映させている。
(資料があれば添付してください。)

- D 利用者の希望調査や、選択メニューについての配慮をしていない。

(5) 食事は温かいものは温かく、冷たいものは冷たく提供していますか。

- A Bを満たしているうえに、利用者が自分で温めたり冷やしたりできるように、保温庫、電子レンジ等が整備され、使用方法についての説明が行われている。

- B 食事の直前に盛りつけされ、汁物等はその場で温めながら提供されている。

- C 保温食器・食缶を使うなど適温で提供する配慮をしている。

D 適温で提供する配慮をしていない。

(6) 栄養管理に十分な注意を払っていますか。

A Bを満たしたうえで、歯痛・腹痛等の突発的な状況に対応したメニュー等を提供できるようになっている。

B Cを満たしたうえで、次の事項の全てを実施している。

①医師等の指示を考慮して、一人ひとりの健康状態に合わせ、減塩食や低エネルギー食、お粥食など特別な食事を提供している。

②定期的健康診断の結果により、一人ひとりの量や食べやすい形態、塩分等を調整している。

③残滓調査を行い、メニューに反映させている。

C 利用者の健康状態や身体状況に合わせた食事が提供できるように、献立内容や量についての見直しを、定期的に行っている。

D 栄養管理に対する配慮をしていない。

2 入浴

(1) 利用者の希望や要請に対して、入浴・シャワー浴ができるようになっていますか。

(通所施設は「非該当」)

A Bを満たしているうえに、要介助者であっても、希望があれば入浴やシャワー浴ができるようにしている。

B 毎日入浴ができる浴室、または利用できるシャワー室が設けられていて、必要な時は、入浴またはシャワー浴ができる。

C 週3回入浴を実施している。

D Cの水準が守られていない。

(2) 快適に入浴できるように工夫していますか。

(通所施設は「非該当」)

A Bを満たしたうえで、各利用者に合わせた快適な入浴環境作りに、施設独自の工

夫をしている。

- B 男女別々の専用浴室があるか、男女別々の入浴環境を提供できるように、入浴時間にゆとりを持たせるなど、快適に入浴できる工夫をしている。
- C 浴室は一つであるが、時間帯を決めて男女別々に入浴できるようになっている。
- D 快適な入浴についての配慮をしていない。

(3) 同性による入浴介助を実施していますか。

(入浴介助の必要な利用者がいない施設及び通所施設は「非該当」)

- A 入浴の際には全介助の場合であっても、環境の改善努力(人的及び機械の導入)をしている。
- B Cを満たしたうえで、個人の意思を確認し、個別的な対応が図れるよう努め、利用者に不快な思いをさせない工夫をしている。
- C 入浴の際は、少なくとも男性介助員が女性利用者の介助にあたることが無いよう努めている。
- D いずれの配慮もしていない。

(4) 入浴時のプライバシー(介助者以外の者から裸体を見られない)に配慮していますか。

(入浴介助の必要な利用者がいない施設及び通所施設は「非該当」)

- A Bを満たしているうえに、必要な人には個別入浴を実施するなど、施設独自の配慮をしている。
- B Cを満たしているうえに、次の事項のいずれも実施している。
 - ①衣類の着脱は、必ず浴室内の脱衣所で、入浴の直前に行っている。
 - ②何らかの事情で早く脱衣した利用者については、タオルで身体を覆うようにしている。
- C 浴室はドアやカーテンで仕切られており、他人から見られないように配慮している。
- D 入浴時のプライバシーに配慮していない。

3 排泄

(1) 介助が必要な人を適切にトイレに誘導していますか。また、夜尿起こしをしていますか。

(利用者全員トイレ介助の必要のない施設は「非該当」)

- A Bを満たしているうえに、さらに尿意・便意が無い利用者にも、排泄チェック表を利用したりするなど、施設独自の工夫をしている。
- B Cを満たしているうえに、次の事項のいずれも実施している。
- ①排泄の訴えがあれば、深夜・早朝でもトイレに誘導したり、オムツ交換をしている。
- ②必要な人には、夜尿起こしも実施している。
- C 尿意・便意のある利用者には、日中、声掛けをして誘導し、原則としてオムツは使っていない。
- D 特別な配慮はしていない。

(2) 排泄の介助をするときもプライバシー（カーテンを引く等）に配慮していますか。

(利用者全員トイレ介助の必要のない施設は「非該当」)

- A 個々の居室内にトイレが設置してあり、排泄介助も居室内のトイレで行えるようにしている。
- B Cを満たしているうえで、ポータブルトイレ利用者の居室のベッドの位置を配慮し、さらにプライバシーを守るようにしたり、**ベッド上の排泄の防臭**をしたり、トイレのカーテンには、使用中の表示をするなど、**日常生活の各場面で音・臭い・ドア・同姓介助等、ひとり一人配慮**されている。
- C 次の事項の全てを実施している。
- ①オムツ使用者には、ベッド周囲にカーテン等を使用している。
- ②ポータブルトイレ使用者には、スクリーンの設置を徹底し、プライバシーを守るようにしている。
- ③トイレ介助時にも、カーテンは必ず閉めてから介助するなど、プライバシーを守っている。
- ④**トイレに冷暖房がある。**
- ⑤**室温を保ちながら換気できる。**
- D プライバシーを守る工夫はしていない。

(3) 必要な利用者には排泄記録を作成し、健康管理に役立てていますか。

- A Bを満たしているうえに、次のいずれかを実施している。
- ①利用者へ排泄記録の必要性を説明するなどして、利用者の自発的な健康管理に役立てている。
- ②利用者の自発的な健康管理が困難な場合でも、利用者個々の排泄記録を活用して、個別援助計画に反映されている。
- B Cを満たしているうえに、次の事項を全て実施している。
- ①勤務交代時に排泄状況を連絡し、水分補給の量や内容の検討に活用している。
- ②必要があれば、嘱託医や協力医療機関に相談して、排尿・排便を促す方法をとっている。
- ③栄養士と連携し、食事面で配慮するようにしている。
- C 必要な利用者について、個別の排泄記録表が作成されており、排尿・排便の状況が把握できるようになっている。
- D 排泄記録表の作成、活用をしていない。

4 衣類

(1) 衣類は個人の個性や好みを尊重するようにしていますか。

(利用者全員のADL(日常生活動作)が自立している施設及び通所施設は「非該当」)

- A Bを満たしているうえに、利用者が場面に応じた衣類を自分で選択できるように、独自の工夫が行われている。
(独自の工夫内容について、備考欄に記載のこと。)
- B 介助者の都合で、着脱しやすい服を着せるのではなく、利用者が自らの意思で、好みの衣服を着用している。
- C 各利用者の衣類の好みを把握したうえで、職員主導で衣類を選択している。
- D 利用者の衣類の好みを聞くことなく、いつも皆が同じようなものを着せている。

(2) 衣類は、定期的に着替えをするようにしていますか。

(利用者全員のADL(日常生活動作)が自立している施設及び通所施設は「非該当」)

- A Bを満たしているうえに、利用者の日常生活の中で着替え~~る~~の習慣を確立してもらえるよう、利用者の意識付けを行っている。

- B Cを満たしているうえに、次の事項の全てを実施している。
- ①**日々の衣類の衛生面の配慮や整理整頓を行っている。**
- ②**季節ごとに衣類の入れ替えを行っている。**
- C 下着は毎日取り替えているか、または汚れた場合はすぐに交換するとともに、利用者の要求に応じた下着交換を心がけている。
- D 次のいずれかに該当している。
- ①同じ下着を2～3日以上着せ続けている。
- ②昼夜同じ衣類で過ごすことが頻繁である。

5 健康管理

定期検診（生活習慣病検診を含む）を行っていますか。

- A 検診結果等、本人に必要な医療ケアについて、医者の協力を得て、一人ひとりの健康管理をケアに活かしている。
- B ①定期的に健康診断**（生活習慣病検診を含む）**を実施している。
②必要に応じ、歯科・眼科検診も実施している。
- C **定期的には検診を実施し、必要に応じて精神科受診を実施している。**
- D 定期的には検診を実施していない。

6 自立の援助

(1) 利用者がするつもりであることを、職員が早く済ませようとして、手っ取り早く片づけたりしていませんか。

(利用者全員のADL（日常生活動作）が自立している施設は「非該当」)

- A 利用者が自力でできることは、自分でするように配慮されており、そのための設備や環境の整備が行われている。
(具体的な事例を備考欄に記入してください。)
- B 利用者ができることは、自分でできるよう援助するという方針が、職員と利用者で確認されている。
- C Bを原則にしているが、時として職員がやってしまうことがある。

D 自立を促す努力が見られない。

(2) 利用者の障害に応じた自助具や補装具を利用できるように援助していますか。

A Bを満たしたうえに、自助具・補装具等は、既存のものだけではなく、利用者の状態に合ったものを開発したり、関係機関の協力を得たりして提供している。
(理由、根拠となる参考資料があれば添付してください。)

B Cを満たしているうえに、必要に応じて義肢装具等適合判定医師や義肢装具士、理学療法士等有資格者と連携し、自助具・補装具が利用者に合っているかどうかを、常に確認している。

C 利用者の障害を正確に把握し、適当な自助具・補装具を利用できるように援助している。

D 自助具や補装具の利用を支援する配慮がない。

(3) 作業・レクリエーション等の日中活動について、利用者が主体的に選択できるようにしていますか。

(身体障害者更生施設、身体障害者授産施設、重度身体障害者授産施設は「非該当」でもよい)

A 日中活動への参加について、利用者の主体性を尊重すべきことが、施設の方針として明確に定められ、職員の間で徹底されている。そのうえに利用者の自発的参加を促す様々な工夫がされている。
(具体的な工夫内容を備考欄に記入してください。)

B Cを満たしているうえに、利用者の希望や意見を反映した多様なプログラムが、用意されている。

C 日中活動への参加は、利用者の自発性に基づいて選択している。また、自発性により難しい場合でも、できるだけ本人の意思を尊重するようにしている。

D 日中活動への参加について、利用者に配慮していない。

7 外出や外泊への援助

(1) 利用者の意向を尊重し、家族との関係作りを支援していますか。

(通所施設は「非該当」)

- A 本人の意向を尊重し、帰省状況に応じて家庭訪問をする等、気遣いをしている。
- B ①盆や年末年始に、施設の生活に独自の工夫をしている。
(具体的な工夫内容を、備考欄に記入してください)
②帰省について支援システムが作られ、家族とのふれあいを支援している。
- C 盆や年末年始の帰省は支援しているが、システムが作られていない。
- D 帰省は支援していない。

(2) 家族の事情を考慮せずに、帰省を無理強いしていませんか。また、利用者の希望を家族に伝える努力をしていますか。

(通所施設は「非該当」)

- A Bを満たしているうえに、家族の居ない利用者については、年末年始などの帰省期間中に里親や代替の行事を考えるなど、施設独自の工夫を行っている。
(具体的な工夫内容を備考欄に記入してください。)
- B 帰省は利用者の希望と家族の意向を踏まえ、施設の都合で帰省を求めることはない。
- C 夏期や年末年始には、帰省してもらうようにしているが、家族の都合の悪いときは、施設で生活できるようになっている。
- D 施設の都合で帰省させている。

8 レクリエーション

レクリエーション活動(余暇活動等)を活発に行っていますか。

(身体障害者更生施設、身体障害者授産施設、重度身体障害者授産施設は「非該当」でもよい。参加型・観戦型レクリエーション、趣味・特技等、旅行・コンサート・レクリエーション大会・施設イベントなども含めて対象とする。)

- A Bを満たしているうえに、参加者の反応や希望・意見等を把握し、プログラムの研究、情報収集に努め、内容を向上させる努力をしている。
(理由、根拠となる参考資料があれば添付してください)
- B 利用者の特性や趣味に合ったレクリエーションが用意されている。
- C 計画的にレクリエーション活動が行われている。

D 計画的にレクリエーション活動を行っていない。

9 利用者の自由選択

(1) テレビ・新聞・雑誌・ビデオ等が自由に利用できますか。

- A Bを満たしているうえに、次の事項のいずれも実施している。
- ①利用者個々にテレビ等を所持しており、利用者の希望によっては、CS放送やBS・WOWWOW放送などの衛星放送、ケーブルテレビの利用が可能となっている。
 - ②ボランティアの導入等で朗読サービスが受けられるようにしている。
- B Cを満たしているうえに、次の事項のいずれも実施している。
- ①新聞・雑誌・図書等の購入希望を受け、個人で購入することができる
 - ②希望すればビデオやCD等を個人で購入することができる。
- C 次の事項のいずれも実施している。
- ①テレビは設置しており、利用者が好きな番組を自由に見られるようになっている。
 - ②新聞・雑誌・図書等が自由に閲覧できるコーナーが設けてある。
- D 新聞・雑誌・図書・テレビ等が自由に利用できない。

(2) 髪型は、利用者の好みで自由に選ぶことができますか。

- A 地域の理美容室等の理解・協力を得て、利用者の希望する髪型が選択できるように支援している。
- B Cを満たしているうえに、理美容室等への外出ができるようになっているか、美容師等の施設内への導入が図られている。
- C 髪型は利用者の好みや希望のとおりになっている。
- D 利用者の希望や好みへの配慮をしていない。

(3) 電話・ファクシミリ・パソコン等を使って、外部との自由な通信ができますか。

- A 個人用電話（携帯電話）、インターネット等を利用する場所があり、必要に応じて、使用方法などを説明している。

- B Cを満たしているうえに、個人用電話（携帯電話）、インターネット等の通信機器の利用が可能で、利用者のプライバシーを守るための工夫がされている。
（具体的な工夫内容を備考欄に記入してください）
- C 次の事項のいずれも実施している
- ①利用者用の公衆電話が設置されていて、外部と自由に電話ができるようになっている。
- ②自分で電話したり、手紙を書いたりできない利用者に対しては、職員やボランティア等が、プライバシーに配慮しながら、代わりに電話をかけたり、手紙の代筆・代読をしたりしている。
- D 次のいずれかに該当している。
- ①外部との自由な通信・連絡についての配慮がなされていない。
- ②通信の秘密が守られていない。
- ③利用者にかかってきた電話を、取り継がないことがある。

〔4〕 他人の迷惑にならない理由で、酒・たばこを楽しむことができますか。

（児童福祉施設は「非該当」）

- A Bを満たしているうえに、たばこは禁煙席・喫煙席を区別した喫茶室等で楽しめるなど、施設独自の工夫をしている。
（具体的な工夫内容を備考欄に記入してください）
- B Cを満たしているうえに、次の事項のいずれも実施している。
- ①利用者個々の嗜好を尊重し、他人の迷惑にならないよう喫煙場所を設けるようにしている。
- ②身体状況に問題のある利用者についても、ただ禁止するのではなく、その理由を説明するようにしている。
- C 身体状況に問題のない人については、飲酒も、他人の迷惑にならない範囲で楽しめるようにしている。
- D 酒やたばこなどは、原則として一切禁止している。

〔5〕 施設の外部の団体等に自由に参加できるよう配慮していますか。

- A Bを満たしているうえに、適当なグループ活動の場が見つからない利用者には、積極的に外部の団体等を紹介したり、希望があれば付き添うなど、社会との接点を広げる工夫をしている。

(具体的な工夫内容を備考欄に記入してください)

- B 自分で外出できない利用者は、希望すれば職員やボランティアが付き添ってもらって、参加することができる。
- C 外部の団体等の活動への参加は自由である。
- D 外部の団体等への参加は、自由には認めていない。

(6) 個人で使う日用品の購入について、商品選択ができますか。

(通所施設及び利用者全員が単独外出可能かつ単独購入可能な施設は「非該当」)

- A 自分で外出できる人は自由に買い物ができ、一人では外出のできない利用者でも、必要に応じて職員あるいはボランティアに同行してもらい、好きな商品を自分で買うことができる。
- B Cを満たしたうえで、月2回以上の定期的な訪問販売の利用が可能で、商品選択できる。
- C 施設に購入してもらおうが、希望の商品を購入してもらうことができる。また、希望に添えない場合でも、いくつかの商品選択が用意されている。
- D 日用品などは施設で一括購入し、個人では商品選択できない。

10 預り金の管理

金銭等の自己管理ができるよう配慮していますか。

※1 児童施設以外の評価基準

- A Bを満たしているうえに、必要な人には、利用者と職員が共同で小遣い帳を付けるなどして自己管理を手助けしたり、多額の現金・通帳を所持しなくても済むよう、**安心して管理できる独自の工夫**をしている。
(具体的な工夫内容を備考欄に記入してください)
- B 次の事項の全てを実施している。
 - ①多額の現金は口座に入れるように働きかけるなどして、自己管理しやすくなるよう配慮している。
 - ②保管場所を用意するなど、個人で金銭管理ができるように、環境整備をしている。
 - ③自己管理が難しい利用者についても、全面的に施設管理にするのではなく、可能な限り小銭等日常の小遣い程度は、自己管理できるよう配慮している。

- C Bのいずれかは実施している。
- D 自己管理のための配慮はしていない。

※児童施設対象の評価基準

児童の発達段階に応じて、金銭の管理や使い方など、経済観念が身につくよう支援している。

- A Bを満たしているうえに、大人と一緒に買い物に行ったり、一人で買い物をさせるなど、経済観念や金銭感覚が身に付くよう計画的な支援をするとともに、無駄遣いをやめ、節約したことによる効果が実感できるようなお金の使い方を、体験できるように工夫している。
- B Cを満たしたうえで、外出時の計画において、自分で買い物ができるように配慮されていて、必要に応じて金銭の自己管理が体験できるようにしている。
- C 次の項目のいずれも実施している
 - ①小遣いの用途については児童の自主性を尊重し、不必要な制約を加えていない。
 - ②一定の生活費の範囲で生活することを学ぶプログラムを実施している。
- D 児童の金銭の管理について配慮していない。

Ⅲ 専門的サービス

(着眼点)
介護や看護、リハビリテーション、地域社会での自立生活に向けた支援など、施設の専門的なサービス、機能に関する評価を行う。

1 機能回復訓練

利用者の身体機能等に合わせた生活リハビリ・機能回復訓練等が行われていますか。

- A 機能回復訓練等の成果を上げて、利用者のモチベーション（動機）を引き出す取り組みを行っている。
- B Cを満たしているうえで、適切な機能回復訓練等を行い、エバリュエーション（事後評価）を定期的に行っている。
- C 機能回復訓練等のための設備機器を備え、利用者の身体機能に応じて、必要な医師~~→理学療法士~~その他専門資格を有する専門家の~~調査~~指示に基づいて、機能

回復訓練等を行っている。

- D 機能回復訓練等に対する配慮は見られない。

2 保健・医療への配慮

(1) 服薬の管理が必要な利用者には、適切な管理をしていますか。

- A Bを満たしているうえに、可能な利用者には自己管理できるよう、施設独自の工夫をしている。
(具体的な工夫内容を備考欄に記入してください)
- B Cを満たしているうえに、たとえ誤薬・配布ミス等の事故が起きたとしても、マニュアルに対応策を記しておいたり、医師との連絡体制を確認するなどして、大事に至らない配慮がなされている。
- C 次の事項の全てを実施している。
①各利用者ごとの服薬チェック、薬歴管理を行い、自己管理できる利用者以外には、一括手渡しでなく服薬ごとに配布している。
②薬品の管理、保管が適切に行われている。
③服薬について、本人または家族に説明されている。
④服薬の誤薬・配布ミス等の事故がないような工夫をしている。
- D 上記の配慮がされていない。

(2) 感染症（疥癬・MRSA・肝炎等）の対策を行っていますか。

- A Bを満たしているうえに、計画的に研修を行うなど、施設独自の工夫をしている。
(具体的な工夫内容を備考欄に記入してください)
- B Cを満たしているうえに、次の事項のいずれも実施している。
・独自の施設内感染対策マニュアルが作成され、適切に励行されている。
- C 必要な手洗器等の機器が設置され、適切に利用されている。
- D 全く配慮がされていない。

(3) 協力医療機関との連携がとれていますか。

- A Bを満たしているうえに、日頃から利用者の健康について相談を受け、協力医

療機関と連携を深め、対処をしている。

- B Cを満たしているうえに、次の事項のいずれも実施している。
- ①急病などの際に、往診や入院などの便宜が図ってもらえるようになっている。
 - ②休日でも対応してもらえる体制が整備されている。
- C 必要と考えられる診療科目について、協力を得ることができる。
- D 全く配慮されていない。

3 地域での自立生活

地域での自立生活にむけた支援・援助を行っていますか。

- A Bを満たしているうえに、地域で生活する元利用者や在宅障害者に対して、見守りの体制を作ったりアフターケアを行うなど、独自の工夫をしている。
(具体的な工夫内容を備考欄に記入してください)
- B Cを満たしているうえに、利用者が地域での生活に復帰するための支援プログラムが用意され、利用者の動機付けに努めている。
- C 自立生活に向けて、各種の地域福祉サービスや保健、医療、教育など、利用可能な具体的なサービスの内容や情報を、積極的に利用者に提供している。
- D 地域での自立生活に向けた配慮が見られない。

4 行動障害に対する対応

自らを傷つけたり、他者に危害を加えるなどの行動（行動障害）があった場合、対応する努力をしていますか。

- A Bを満たしているうえに、関係する全ての職員が連携し、必要に応じて専門医の協力を得て、問題となる行動の観察や分析を行い、新たな援助方法の修得や研究を進めるなどの工夫をしている。
(具体的な工夫内容を備考欄に記入してください)
- B Cを満たしているうえに、次の事項の全てを実施している。
- ①できるだけ受容する姿勢で受け止める方針が、全職員に徹底している。
 - ②自傷、他害、物損などの危険な行為に対して、利用者の心身を傷つけずに対応するための指針が定められている。
 - ③行動障害のある利用者については、観察・記録した資料を基に、誘因や刺激、人的、物的環境との因果関係を分析し、全職員の認識を統一したうえで対応す

るようにしている。

- ④他の利用者が持つ不安感や恐怖感を和らげるためのケアを実施し、周りの人に影響がないように配慮している。

C 次の事項のいずれも実施している。

- ①服薬が必要な利用者については、医師と緊密に連携している。
②日頃から利用者の行動の特性、生活のリズム、興味、嗜好、対人関係などを観察・記録し、その結果を全職員で共有するようにしている。

D 行動障害に対する配慮が見られない。

IV 地域福祉・連携

(着眼点)

地域に開かれた施設づくりを促進していくため、医療機関や福祉事務所、他機関との連携、ボランティアの受入などに関する評価を行う。

1 ボランティア・実習生などの受入や育成に積極的に取り組んでいますか

A Bを満たしているうえに、常時、数名のボランティアの参加やボランティアコーディネーターの設置、地域の学校等の実習指定施設になっているなど、施設独自の取り組みをしている。

(具体的な取り組みを備考欄に記入してください)

B 次の事項の全てを実施している。

- ①ボランティアを受け入れているか、受け入れた経験がある。
②ボランティアの名簿や記録が整備されている。
③実習生の受入にも積極的に取り組んでいる。
④職員・利用者に対して受入の趣旨等を徹底し、適切な対応に努力している。

C ボランティアか研修生の一方は受け入れたことがあるが、受入のための働きかけは特に行っていない。

D ボランティア・実習生を受け入れたことが無いうえ、受入のための働きかけも行っていない。

2 広報紙（誌）を定期的に発行し、家族、地域住民、ボランティアに配布していますか。

A Bを満たしているうえに、希望者や地域住民に配布したり、過去数年分のバック

ナンバーを揃え、閲覧できるようにしておくなど、独自の工夫をしている。
(具体的な取り組みを備考欄に記入してください)

- B 利用者・ボランティア・施設を訪問した地域住民等に向けた広報紙（誌）を定期的に発行している。
- C 年に1回以上広報紙（誌）を発行している。
- D まったく発行していない。

3 地域の在宅障害者等に対する支援活動を行っていますか。

- A Bを満たしているうえに、**児童**デイサービス、ショートステイ事業、居宅介護、**地域生活支援事業**を実施したり、地域の人々を対象に介護実習や講演会を開催するなど、施設独自の工夫をしている。
- B Cを満たしているうえに、児童デイサービス、またはショートステイ事業、居宅介護、**地域生活支援事業**へのニーズを調査していて、必要であれば新たな事業展開を行う用意がある。
- C 地域の人々の専門的な相談に応じるなど、施設の機能・資源をもとに地域の人々に貢献している。
- D 地域支援の配慮がみられない。

4 地域に親しまれる施設としての活動や行事に配慮していますか。

- A Bを満たしているうえに、必要であれば施設と地域が、行事の企画段階からの参画や地元自治会への加入の体制がとられ、相互に積極的な関わりが行われるような工夫をしている。
(具体的な工夫内容を備考欄に記入してください)
- B Cを満たしたうえで、地域と交流できるよう次のような行事を行っている。
 - ①地域自治会の運動会、盆踊り大会等の行事に参加している。また、地域の行事予定などの情報を利用者に提供し、利用者が参加しやすいようにしている。
 - ②地域の環境整備（草取り・掃除など）に、施設から積極的に参加協力している。
- C 次の事項のいずれも実施している。
 - ①施設の行事（学園祭・盆踊り）への参加を呼びかけ、地域住民が参加しやすいようにしている。
 - ②施設設備を可能な限り地域住民に開放している。

- D 地域の人々との交流のための配慮をしていない。

V 施設設備

(着眼点)

施設における快適な入所生活を送ることができるよう、施設設備や生活環境に関する評価を行う。

1 施設設備

(1) 利用者がくつろげるデイルームや談話室がありますか。

- A Bを満たしているうえに、喫茶室や喫茶コーナーなどを設けるなどの工夫がされている。
- B Cを満たしているうえに、次の事項のいずれも実施している。
- ①利用者がくつろげるように、ソファや椅子、テーブルなどが用意されている。
 - ②テレビ、オーディオなどの備品が揃っており、内装や装飾にも工夫がされている。
 - ③**利用者の希望に添った娯楽道具がある。**
- C デイルームか、もしくは談話室がある。
- D デイルームや談話室などは無い。

(2) 段差解消・手すりの設置など、自助具や車いすを利用できるよう配慮していますか。

(自助具や車いすの利用者がいない施設は「非該当」)

- A Bを満たしているうえに、さらにその他独自の工夫がされている。
(具体的な工夫内容を備考欄に記入してください)
- B Cを満たしているうえに、次の事項の全てを実施している。
- ①施設内の段差は解消されている。
 - ②エレベーター、トイレ、ドアが車いす等で利用しやすくなっている。
 - ③洗面所や食堂、談話室が車いす等で利用しやすくなっている。
- C 廊下に障害物を置いていない。

D 施設にこのような配慮がされていない。

(3) 利用者のニーズに応じるため、個室や二人部屋に配慮していますか。

A 居室は個室または二人部屋であり、利用者が納得する生活空間を作れるよう努めている。

B 利用者の希望に応じた個人のスペースを確保するようにしている。

C カーテンで仕切りをするなどして、個人のスペースを確保する工夫をしている。

D 全く配慮されていない。

(4) 必要な場合に家族が宿泊することができますか。

A 家族が宿泊できるように、専用の部屋が用意されている。

B 専用の居室は無いが、面会の家族が宿泊できる部屋が用意されている。

C 近くの宿泊場所を確保するなどの配慮をしている。

D 家族の宿泊について、配慮をしていない。

2 施設内環境衛生

(1) 施設は清掃が行き届き、衛生的な状態にありますか。

A Bを満たしているうえに、**清掃後日常的に消毒（手すり・ノブ・トイレ）が行われている。**

B Cを満たしているうえに、責任者が毎日各所を点検するとともに、清掃業務を入念に行うなどの工夫がされている。

C Dを満たしているうえに、次の事項のいずれも実施している。
①居室・廊下・トイレ・食堂は、1日1回以上モップなどを使って清掃している。
②清掃の**担当者が決められている。**

D 居室・廊下・トイレ・食堂は1日1回程度、簡単に清掃している。

E 清掃が行き届かず、汚れが目立つ。

(2) 施設内に異臭がありませんか。

- A Bを満たしているうえに、脱臭装置付空気清浄機を設置して施設全体に異臭を感じさせないようにするなど、施設独自の工夫をしている。
- B トイレなどに異臭はあるものの、社会通念上認められる範囲のものであり、定期的な掃除などにより異臭を持続させないように努めている。
- C トイレの周辺など、特定の場所には異臭があるものの、全体としては異臭は少ない。
- D 施設の大部分で異臭が感じられる。

VI 経営・職員管理等（資質の向上）

（着眼点）

利用者の人間らしい生活の実現を目指すため、入所者の意思を尊重し、質の高いサービスを提供する。そのため、職員研修や各種記録の整備などの、経営管理に関する評価を行う。

1 職員に対する教育・研修

(1) 施設の経営理念・経営方針等を職員に徹底していますか。

- A Bを満たしているうえに、中長期的なビジョンを持って質の高いサービスに取り組んでいる。
＜方法＞中長期的な計画の提示を求め、評価してください。
- B Cを満たしているうえに、施設の経営理念、経営方針等を実現可能な具体的目標に置き換えて実践するなど、施設独自の工夫をしている。
＜方法＞具体的方法をあげてください。
- C 施設の経営理念や経営方針等を文章等で明確にし、会議等を利用して全ての職員に浸透させている。
- D 施設経営の基本理念が明確にされ、経営理念や経営方針等が作成されている。

(2) 新・転任職員のための系統的な研修プログラムがありますか。

※ここでいう職員とは、正規・非正規職員を問わず、採用時期も問わない。

- A Bを満たしているうえに、研修プログラムに一定の評価の基準を設け、再研修のシステムがある。

〈方法〉具体的なシステムに基づいて評価してください。

- B Cを満たしているうえに、研修マニュアルのプログラムを作成し、職員の技能・技術等に応じた内容で研修を実施している。

- C 次の事項を実施している。

①一定期間、指導担当者を付けて、職場研修を実施している。

〈方法〉具体的にあげてください。

- D 新任・転任職員等の研修についての配慮がされていない。

(3) 施設内で職員研修や勉強会が企画され、計画的に行っていますか。

- A Bを満たしているうえに、職員の自発的なグループによって、テーマを決めて勉強会をし、発表している。

〈方法〉具体例に基づいて評価して下さい。

- B Cを満たしているうえに、新しい支援のあり方や、専門的技法などについての研修会や勉強会が継続的に実施されているなど、独自の取り組みが行われている。

- C 研修会が定期的・計画的に実施されている。

〈方法〉具体的にあげてください。

- D ほとんど実施されていない。

(4) 施設外の研修会等へ積極的に参加していますか。

- A Bを満たしているうえに、計画的に研究発表を行うなど、職員に意欲を持たせる配慮がされ支援に活かしている。

〈方法〉具体例に基づいて評価してください。

- B Cを満たしているうえに、参加後、施設内で研修成果を発表する場を設けて、研修成果を施設全体に実践を取り入れる努力をしている。

- C 全職種を対象に、外部研修に参加できるよう年次計画が立てられている。

D 特別な配慮がされていない。

(5) 職員の専門資格取得を積極的に進めていますか。

A Bを満たしているうえに、職員研修や勉強会で、資格取得の重要性を教育し、資格取得のための勉強会を実施したり、勤務上の配慮をするなど取得に向けて積極的にすすめている。

〈方法〉具体例に基づいて評価してください。

B 資格を取得していない職員に対する啓発に力を入れ、支援に活かしている。

C 施設で教科書やビデオ等の参考図書類を購入するなど専門資格の取得を会議等で奨励している。

D ほとんど配慮されていない。

2 記録・調査

(1) 業務に関する各種記録を適切に記帳管理し、活用していますか。

A Bを満たしたうえで、業務に関する各種記録について、定期的に各種記録との整合性を確認するとともに、個人記録などは個人支援計画作成時や見直し時等の資料として活用している。

〈方法〉活用の具体例に基づいて評価してください。

B Cを満たしたうえで、個人記録等は、経過的变化や対応状況が適切に記録され、関係職員が共通認識を持てるよう、閲覧したり、ケース会議等で活用している。

C 次の事項の全てを実施している。

①記録の記入方法・管理方法について、統一的な扱いが決められており、常に記録は整理されていて、必要な記録を迅速に引き出すことができる。

②記録の秘密保持に注意が払われている。

③業務に関する日々の報告は、施設長にまで報告されている。

D Cを実施していない。

(2) 生活支援サービスに対する利用者の意見や要望を調査し、施設経営に反映していますか。

- A Bを満たしているうえに、利用者やその家族の代表、地域の方々などと経営等について協議する場を設けて（または、それと同様の機能が発揮されて）いるなど、施設独自の工夫をしており、**成果を上げている。**

〈方法〉成果の事例に基づいて評価してください。

- B Cを満たしているうえに、得られたデータを十分検討し、速やかに改善するか、または計画的・段階的に対応するなど、具体的に施設の経営に反映させている。
- C 定期的に調査やアンケートを行うなど利用者の意見や評価をくみ上げるために、工夫している。
- D Cを実施していない。

3 個別支援計画等

(1) 利用者ごとの支援計画が、利用者本位の計画として作成されていますか。

- A Bを満たしているうえに、サービスの適否を日常的にチェックしサービス実施計画どおりにサービスが行われていることを確認する仕組みが構築されるとともに、**実際に機能している。**

〈方法〉具体例をあげて評価してください。

- B Cを満たしているうえに、サービス実施計画を策定するための部門を横断した関係職員の合議、利用者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。
- C サービスの実施計画は、一人ひとりの利用者について、日常生活を支援する上での留意点などが具体的に記載されている。
- D 支援計画の作成にあたって、利用者や家族の意見が反映されていない。

(2) 利用者支援のための検討会・研究会を開催していますか。

- A Bを満たしているうえに、内容に応じて、会議等に外部の専門家を招いてアドバイスを受けるなど、施設独自の工夫をしている。

〈方法〉具体例をあげて評価してください。

- B Cを満たしているうえに、次の事項のいずれも実施している。
- ①利用者支援のための検討会・研究会等を定期的に開催し、利用者に係る問題を多角的に検討するとともに、問題認識を共通にするようにしている。
- ②検討会等の検討結果が尊重され、支援の改善に結びつくようになっている。

- C 個々の利用者に関しては、年1回は利用者**支援**のための検討会・研究会等を開催している。
- D 利用者**支援**のための検討会・研究会等は行われていない。

VII 安全対策

(着眼点)

利用者の生命・身体の安全を守ることは、施設の当然の義務であり、安全対策の整備や危険防止に対する意識づけ等の状況进行评估する。

1 危険防止

施設内の危険箇所の日常点検や、破損箇所の適時補修を行っていますか。

- A Bを満たしたうえで、施設内の危険箇所の日常点検を行い、破損箇所は速やかに補修している。改修が終了するまでは、危険箇所の周知や防護策の設置などに努めている。
- B 破損箇所や危険箇所の発見に心がけており、早急な改善対応に努力している。
- C 破損箇所等を見つけた時点で、優先順位を検討して改善するようにしている。
- D これらの配慮がされていない。または放置している。

2 災害対策

災害に対する対策や、確実な避難体制を準備していますか。

- A Bを満たしたうえで、災害時の利用者の状況（おびえる、興奮する、常時投薬の必要があるなど）を予め把握し、個人の非常持ち出しが整備されている。
- B Cを満たしているうえに、次の事項のいずれも実施している。
- ①災害時に備え、家族・職員・行政及び地域との会合を持つなど、連絡協力体制を整備している。
- ②非常食等の予想される物資（紙オムツ、薬、補装具等）が3日以上確保されている。
- C 次の事項のいずれも実施している。

- ①災害時の避難場所、方法を職員・利用者に周知している。また、避難時の役割を各自が周知している。
- ②避難・防災訓練を年2回以上実施している。

D これらの配慮がされていない。

3 不測自体の対応

不測の事故（行方不明、怪我、誤嚥等）に備えて、各種の訓練が行われていますか。

- A Bを満たしているうえに、利用者の安全に対する細かなチェックリストが作成され、定期的な点検が行われている。
- B 「事故」の内容を列記して、それぞれの対応がマニュアルにされ、定期的な読み合わせるなど周知を図っている。
- C 法令・通知・規定で定められた範囲の対策を実施している。
- D 特別な配慮がされていない。

身体障害者授産施設及び通所授産施設における サービス評価基準について

標記の件について、心身障害者（児）入所施設サービス評価基準に、下記項目を加える

ことで評価基準といたします。

Ⅷ 安全対策

4 通所利用者の安全対策

通所利用者の通勤時、緊急時等の安全対策を行っていますか。

- A 利用者個々の通勤経路を調査し、通勤方法等の安全を確認している。
- B Cを満たしたうえで、次のいずれも実施している。
①安全な通勤方法について、利用者と共に話し合いをし、共通認識を持っている。
②地震時や台風発生時の緊急連絡網の体制がとれている。
- C 一人暮らしの利用者に対して、緊急発生時の連絡方法や地域の（隣人等）協力体制の確認を行っている。
- D 安全対策の配慮がなされていない。

Ⅷ 授産サービス

（着眼点）

利用者の個々の能力に合った就労・生活支援を行い、適正な工賃支給及び社会自立へ向けての適正な授産活動が行われているか、利用者のための就業規則等が制定されているか、利用者が話し合いをしながら作業を進めていく環境にあるか等を調査する。

1 社会就労

社会就労に向けた努力を行っていますか

- A ハローワーク等の関係機関と連携し、職業評価を受け、求人登録や職場見学を行っている。
- B 社会就労のマニュアルがあり、就労トレーニング（意欲・体力・集中力・身だしなみ・履歴書の書き方など）を行い、職場開拓を行っている。
- C 利用者・家族に対し、社会就労に向けた働きかけをしている。

D 特に対応していない。

授産経営

(1) 継続的な仕事の確保に努めていますか。

- A Bを満たしたうえで、積極的な自主製品の開発を行うための市場調査や商品企画を行うなど、多様な販売戦略を行い、仕事の確保に努めている。
- B 利用者の障害の程度に応じて、適切な仕事を提供できる体制を整備している。
- C 受託事業者との契約を交わし、仕事の量、工賃単価等について常に交渉をして、安定した仕事の供給に繋げている。
- D 特に対応していない。

(2) 販売努力を常に行っていますか。

- A 自主製品を主体に積極的な生産・販売活動・販路拡大や委託販売に努めている。
- B Cを満たしたうえで、開発した自主製品や買い取った受注製品を、積極的に販売している。
- C 各種イベント等についての情報収集を行うとともに、様々な販売機会を積極的に活用している。
- D 特に配慮がなされていない。

(3) 製品管理が適切に行われていますか。

- A 受注製品、自主製品を適正に管理するために、それぞれ「製品管理台帳」を整備している。
- B Cを満たしたうえで、次の項目のいずれかを行っている。
- ①温度、湿度等に配慮して、毀損が無いように、受注製品を管理することに努めている。
- ②市場に適合する自主製品を生産するために調査を行い、在庫の過不足が無いようにするなど、適切な在庫管理に努めている。

- C 受注製品や自主製品の安全を確認するように、定期的に点検が行われている。
- D 特に配慮がなされていない。

作業環境・規則等整備

(1) 利用者の障害に合わせた作業提供をしていますか。

- A Bを満たしたうえで、作業能力評価を適切に行い、個々の利用者に適した作業提供を行っている。
- B Cを満たしたうえで、次の項目のいずれも行っている。
 - ①多様な作業内容を用意し、利用者の障害の部位や程度に応じて、選択出来るよう配慮している。
 - ②作業に対して施設と利用者とは、個々及び全体の話し合いの場を定期的に持っている。
- C 次の項目をいずれも行っている。
 - ①作業の月間、年間計画を利用者に示している。
 - ②作業行程について、利用者にわかり易く説明し、納得してもらっている。
- D 特に対応していない。

(2) 就業規則が整備されていますか。

- A Bを満たしたうえで、利用者の状況に応じて、就業規則の見直しがなされ、利用者に説明されている。
- B Cを満たしたうえで、年次休暇、特別休暇、その他各種休暇規則が就業規則として整備してある。
- C 作業上の災害補償に関する対応を整備している。
- D 特に整備されていない。

(3) 工賃を適切に支給していますか。

- A Bを満たしたうえで、工賃に対する苦情、要望・相談等の機会及び担当者を設けている。

- B Cを満たしたうえで、次の項目をいずれも行っている。
- ①個別に工賃に関する説明を行い同意を得ている。
 - ②工賃の見直しの協議を定期的に行っている。
 - ③利用者に対して決算報告をしている。

C 工賃規定を整備してある。

D 特に整備されていない。

(4) 作業場の環境作りを常に行っている。

- A Bを満たしたうえで、次の項目について個別の対応をいずれも行っている。
- ①移動空間やトイレの手すりなどの補助誘導設備の配置を行っている。
 - ②室内の照明、室温、湿度、換気及び騒音を個々の利用者の障害に合わせた設備の配慮がなされている。

- B Cを満たしたうえで、次の項目をいずれも行われている。
- ①障害に合った器具、設備等の設置がなされている。
 - ②障害に合わせて、作業用工具の工夫をして対応している。

C 作業空間や車椅子のスペースが十分ある。

D 特に配慮がされていない。